

これからの大潟村は村民みんなで創りましょう！

大潟村議会議員

黒瀬友基

2020年10月17日発行

活動報告No.1

活動報告

ブログ

始めました

tomoki.kurose.com



初めての9月議会において、教育、子育て、住環境などが中心の一般質問4点と総括質疑3点を行いました。

はじめまして、黒瀬友基です。8月の村議会議員改選に伴い2024年までの4年間、村議会議員をさせて頂きます。不勉強な点もあると思いますがよろしくお願い致します。

議会報告 遊び場は国の事業ありきでなく まずは村民が望むものを考えて！

今回、一般質問で私を含め2名が旧児童館を含む子ども遊び場の質問をしました。各住区の旧児童館には子どもたちがかわいそうなぐらいう遊具がありません。

そんな中、村は新たな遊び場の整備計画を立てており、村長答弁で「交流人口を増やす形の遊び場で国の事業を活用する」と述べ、村外からも遊びに来られる大きい遊び場を前提に令和4年の利用開始を予定しています。

確かに大きな遊び場も子どもたちにも楽しい場所となるでしょう。しかし、旧児童館は祖父母と子どもが手をつなぎ歩いて遊びに来る光景もあります。そのような近所の遊び場は再整備しなくていいのでしょうか？そして、「交流人口を増やす」ことは、大潟村の子どもたちのための遊び場に必要なことでしょうか？

今回、村長答弁で「国の事業の詳細が決まっていないので…」との発言が度々ありました。確かに予算の限られた村では国の事業を活用することも必要です。が、何よりもまずは村民と共に大潟村にあるべき理想的の遊び場の姿を考えることが大事です。間違っても「国の事業に合うから/合わないから」ありきで遊び場整備を考えるべきではありません。まずは、村民が望む遊び場を考え、その上で使える国の事業があるか、それとも予算は限られたとしても自主財源での整備をするのか、を考えるのが筋だと思います。

＝令和2年9月定例会・主な内容＝

1. 令和元年度歳入歳出決算
2. 令和2年度一般特別会計補正予算
－主な補正：コロナ対策、ふるさと納税関連
3. 教育委員、固定資産評価委員、選挙管理委員等の承認・選挙

9月定例議会の内容は、10月初旬発行の広報おおがた10月号及び10月15日発行の議会だより141号もあわせてご覧ください。



活動報告・座談会を開催します

皆さんと色々なお話をしたいので、活動報告&座談会を定期的に行います！どなたでも参加可能、申込も不要です。

1回目は10月27日です。今回の議会で出た遊び場、球場の整備、村営住宅、子育て支援、温泉・診療所の指定管理のことなど、色々と教えて下さい。

託児はありませんが、お子様連れでの参加大歓迎です（入退室自由）。今回は夜の開催ですが、参加しやすい時間帯、曜日などもご意見下さい。

黒瀬友基 活動報告・座談会

日時：2020年10月27日(火)

午後7時30分～8時30分

会場：ふれあい健康館和室

内容：1. 活動報告

－9月定例議会の内容など

2. 質疑・座談会

申し込み不要・入退室自由です。お気軽にどうぞ

議会報告**北1丁目村営住宅の建て替えは、しっかりとした計画を立てた上で**

一般質問の村長答弁で、今後の住宅政策について「まず始めに北1丁目村営住宅の建て替えを進める」との話が出ました。確かに、村営住宅は、建設から29~34年経過しており、その状況でも入居率も高く有効に活用され、ニーズは高い施設です。

ただ、多くの村営住宅を建設、維持するには相応のコストがかかりますし、そのすべてが受益者（入居者）負担で賄えているわけではありません。もちろん、福祉、産業誘致、移住定住促進といった様々な観点で村営住宅が存在するので、すべてを受益者負担にするべきではないですし、また村営住宅が一切不要とは思いません。



しかし、**建て替えをするのであれば、今一度どのような入居者のために必要なのか、という目的をしっかり考えて事業を進めて行く必要がある**と思います。今回は空き家空き地対策を含めた住宅政策全般での質問だったため、村営住宅の建て替えに関しては深く質問していませんが、今後も注視したいと思います。

また、この件は、様々なご意見があると思いますが、皆さまのご意見も教えて頂ければ幸いです。

議会報告**村費による「ポルダー湯の湯」のテーブル/椅子などの更新は適切か？**

令和元年度に、**ポルダー湯の湯食堂のテーブル/椅子、下足棚が更新されました**が、それら購入費用は村の予算によって支出されています。



今回村は「備品は指定管理者が購入するものだが、椅子、テーブル、下足棚は開店時に村が設置したため今は村が負担することになった」と説明しています。

当初村が直接運営をした際に使用していた備品を引き続き指定管理者が使用するのは構いませんが、その後も使用していて**古くなったからと言って備品の更新費用を村が負担する必要はあるでしょうか？**

この点は、決算審議で他の議員から意見が出ており、「今後精査していきたい」との回答がありましたので、村（＝村民）の負担が過度にならないように、明確な負担の決まりを早急に作って頂きたいと思います。

新米議員の思うこと－黒瀬友基

さて、初めての定例議会は、わからないことばかりでした。当然ながら自分自身はもっと勉強しないといけません。しかし一方で、「知ってて当たり前ではなく、知らない人も多くいる」ということは忘れず、どうすれば村の事業、議会の様子を知ってもらえるか、村の事業に関わってもらえるか、を考えていきます。

ぜひ村の創意工夫で事業推進を

さて、そんな初めての議会の中で、子どもの遊び場の話にも書きましたが、とても気になったのは、**村長の答弁で「国のこと事業が…」というフレーズが非常に多い**ということです。しかしそうではなく、本来はまずはこの大潟村にとってはどんな事業/施設が良いのか、という話しが先にあるべきです。

大潟村がこれから進めようとしている、移住定住の促進、農産物を作り売ること、観光客を呼び込むこと、企業誘致をすること、など。それらすべては、日本の人口がこれから減る中で、他の自治体と競い合いながら行う必要があります。その時に「国のこと事業に沿って…」で果たして実現できるでしょうか？

しっかりと知恵を絞って村独自の事業を進めなければ、村長の目指す「住み継がれる大潟村」にはならないと思っています。（個人的には、移住定住促進をうたいながら、すでに住んでいる農家（入植世帯）ありきに感じる「住み継がれる」と言う表現はあまり好きではありませんが）

議会ネット中継の改修を予定しています

現在の議会のネット中継は、システムが古く多くの環境で閲覧ができません。村でも対応を検討中で、技術的な部分で問題がなければ12月議会の時には新システムになりそうです。

最後まで読んでいただきありがとうございます。表面上にアドレス、QRコードも入れましたが、ブログでも活動報告をしています。時間があればぜひご覧ください。これからもご指導よろしくお願ひ致します。